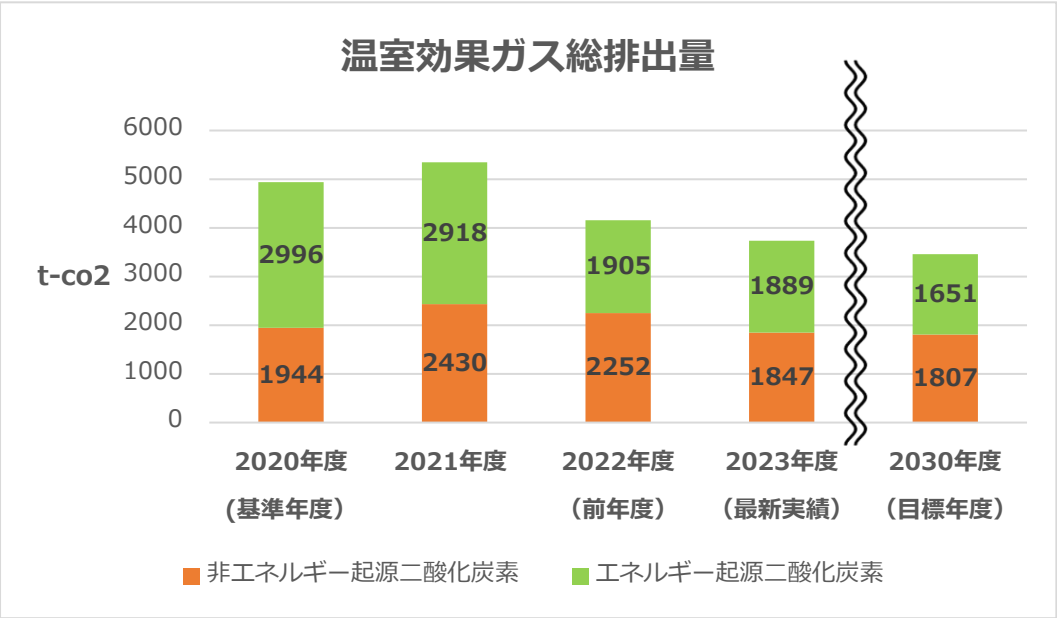


1. 2023 年度進捗

2023 年度の佐々町の温室効果ガス総排出量は 3,736 t-co2 で、基準年度（2020 年度）と比較すると 1,204 t-co2 の減少、前年度（2022 年度）と比較すると 421 t-co2 の減少となります。主な要因として、廃プラスチック類焼却量の減少や、燃料の使用量の減（特に A 重油、液化石油ガス（LPG））などが挙げられます。なお、電気の使用量については昨年度と比較して約 10%の減となりましたが、各電力会社の排出係数の上昇により、co2 排出量としては約 15%増加しています。

◎温室効果ガス総排出量増減表

	2020 年度 (基準年度)	2022 年度 (前年度)	2023 年度 (最新実績)	2030 年度 (目標年度)
エネルギー起源 二酸化炭素	2,996 t-co2	1,905 t-co2	1,889 t-co2	1,651 t-co2
非エネルギー起源 二酸化炭素	1,944 t-co2	2,252 t-co2	1,847 t-co2	1,807 t-co2
合計	4,940 t-co2	4,157 t-co2	3,736 t-co2	3,458 t-co2



◎温室効果ガス総排出量削減率

	対基準年度比 (2020 年度比)	対前年度比 (2022 年度比)
エネルギー起源 二酸化炭素	36.9%減	0.8%減
非エネルギー起源 二酸化炭素	5.0%減	18.0%減
合計	24.4%減	10.1%減

2. まとめ

2023 年度の温室効果ガス総排出量はエネルギー起源二酸化炭素、非エネルギー起源二酸化炭素ともに、対基準年度比、対前年度比いずれも下回る数値となりました。今後も省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、引き続き温室効果ガスの排出量削減に向けて取り組みます。